

会派代表質疑

3月3日の本会議で、市長が提案した予算案に対して、各会派が代表質疑を行いました。
主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

わが会派は 予算のここをチェック！



八王子市議会公明党



むらまつ とうおる
村松 徹



空調機設置で避難所生活の環境改善へ

体育室への空調機設置は

問 避難所となる市民センター1体育室で空調機が未設置の7施設のうち、石川・中野は、設置工費が計上されているが、残りの5施設についての方針は。

答 利用者の利便性や市内事業者の受注機会の確保等を考慮しつつ、自然災害が頻発していることを踏まえ、迅速かつ計画的に整備していく。

今後の地域公共交通整備は

問 桑都の杜の開設に合わせ、自動運転バスの実証運行を実施することである。将来的に本市は、レベル4自動運転※1を目指すとのことだが、今後の取り組みへの考えは。

答 自動運転の社会実装には、安全性と信頼が必須と考えている。交通事業者や大学等と連携し、本市での実証実験や社会実装に取り組んでいく。

自民党新国会



すずき れお
鈴木 玲央



財政規律で負担のバランスを

財政健全性確保の取り組みは

問 持続可能な財政運営のため、基金と市債のバランスを取り、財政の健全性確保に向けて、今後どのように取り組むのか。

答 経営計画において、市独自に財政規律を設定し、現役世代と将来世代との負担のバランスを図っている。今後市民サービス向上と持続可能な財政運営を両立していく。

不登校対策の充実を

問 校内別室指導支援員※2の配置を8年度に全市立小・中学校等に拡大することで、不登校児童・生徒への支援をどのように充実するのか。

答 全校で持続可能な運営を行えるよう事業設計を行った。不登校対策として、ほかにも幼稚園・保育園との連携を進めるなど、考え得る限りの対策に取り組んでいく。

日本共産党 八王子市議会議員団



すずき ゆうじ
鈴木 勇次



施設使用料等の算定の適正化を

受益者負担の算定の適正化を

問 市はスポーツ施設等の使用料等を算定する原価に減価却費を含めている。市民は、住民福祉のために税負担しており、減価償却費を含めて利用者負担で賄うのは、適切ではないのではないかと。

答 施設の更新費用を長期的に見通し、将来世代へ過度な負担を残さないため、建設費相当の減価償却費を原価に含め算定することとしている。

平和な社会に向けて

問 内閣から非核三原則の見直しがある中、非核平和宣言都市である本市から、見直し発言に抗議し、撤回を求めるべきと考えるがどうか。

答 市が加盟する平和首長会議では、核兵器廃絶に向けた取り組みや活動が決議されている。引き続き、加盟都市として活動していく。

立憲民主・市民の会



こばやし ひろえ
小林 裕恵



さらなる地域公共交通の充実を

地域公共交通の考えは

問 はちバスを再編し、運行ルートを拡大することを評価する。市民生活の質を担保する、都市インフラとしての地域公共交通の将来像は。

答 人を中心とした交通環境の充実と地域の活力を育む交通体系の実現に向け、市民生活の視点に立った施策を着実に進めていく。

アスベスト対策の方針は

問 4年度から実施した民間建築物のアスベスト含有調査に対する補助金交付を終了し、8年度は予算計上していない。今後の方針を聞きたい。

答 アスベスト対策の必要性等を所有者へ周知でき、一定の成果があったと考える。今後は関係団体と意見交換を行い、支援のあり方について引き続き検討を進め、市民の健康と安全確保に努めていく。

※1特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、システムが運転操作の全部を代替する状態の自動運転
※2学級で過ごすことは難しいが、校内の別室であれば登校できる児童・生徒に対して、別室で学習指導や相談対応等を行う支援員